

## 国際スポーツ心理学会（ISSP）2年分の年会費の補助について

2021年9月30日～10月4日に台湾で、国際スポーツ心理学会（ISSP）の第15回大会が開催されます。その大会で開催される総会の前日までに次期役員選挙の投票（郵送等による投票も含む）が行われますが、選挙権を有するためには2020年と2021年の2年に渡ってISSP会員である必要があります。日本スポーツ心理学会会員で投票していただける方に対してこの2年分のISSP会費を支援することになりました。

ISSPの年会費には3+1という3年分の会費で4年分の会員権を得られる会費納入方法がありますが、その場合においても、2年分に限って日本スポーツ心理学会は支援します。なお、2020年の会費は2021年になってから遡って支払うことはできませんので、年内に2020年分のISSP会費を支払うことをお勧めします。2020年分のみを年内に支払う場合には、2021年になってから2021年分を支払う必要があります。年内に3+1で支払えば、2020年～2023年の会員権を得ることができます。

日本スポーツ心理学会としては、その次期役員選挙に工藤和俊会員（東京大学）を理事として推薦しています。多くの学会員が、ISSP次期役員選挙の投票をしていただけるようお願いいたします。

なお、院生の学会発表に対しては、別の支援もあります。こちらは、日本スポーツ心理学会ホームページをご覧ください。

また、国際スポーツ心理学会の年会費納入法に関しては、別紙をご覧ください。